

1 区割り・区の名称

目次

1	区割り・区の名称	区割- 1
2	区割りの考え方	区割- 2
3	区の名称	区割- 4
4	町名の考え方	区割- 5
	参考資料	区割- 6

※ 本資料の各表においては、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

1 区割り・区の名称

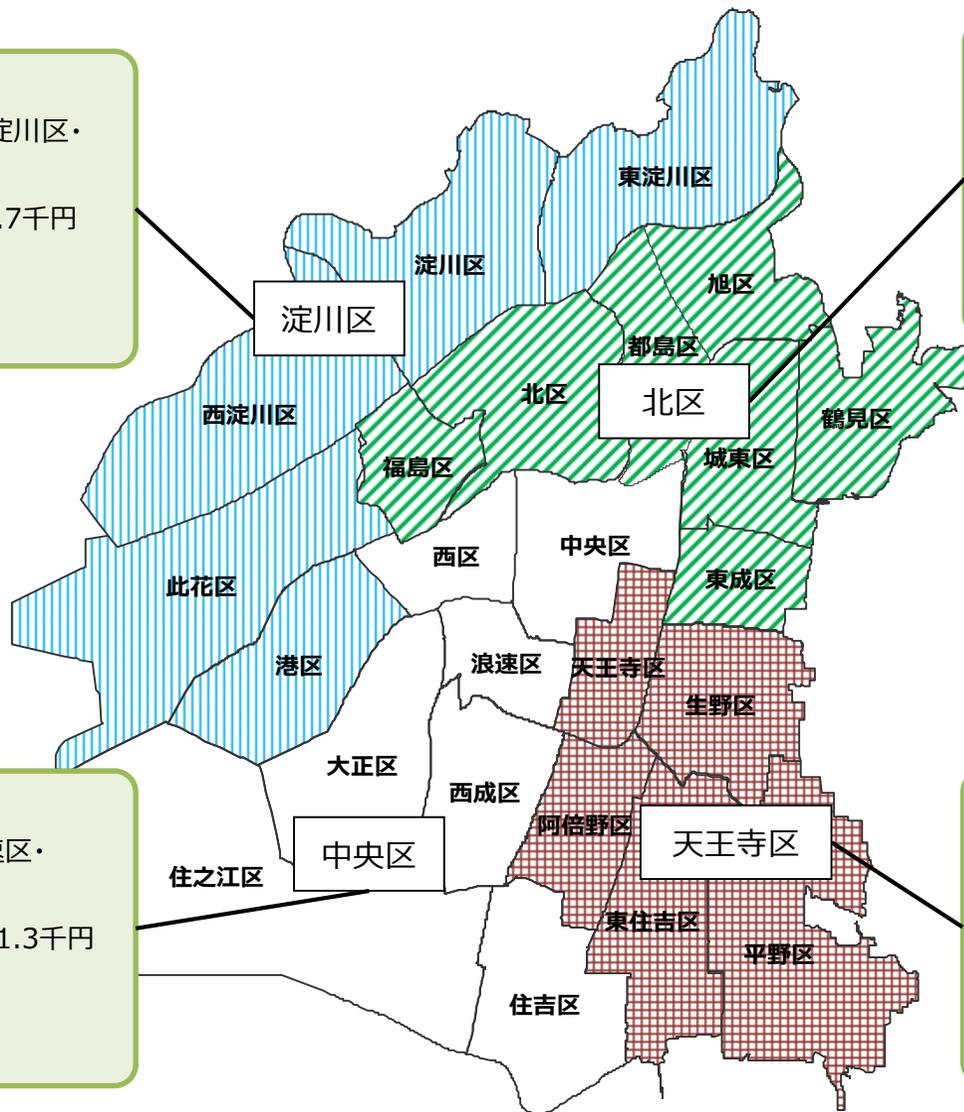
区割り・区の名称は次のとおりとする

淀川区

【現行政区】

此花区・港区・西淀川区・淀川区・東淀川区

- ・ 一人当たり自主財源額85.7千円 (H27決算)
- ・ R17人口52万9千人 (H27 59万6千人)



北区

【現行政区】

北区・都島区・福島区・東成区・旭区・城東区・鶴見区

- ・ 一人当たり自主財源額102.4千円 (H27決算)
- ・ R17人口70万2千人 (H27 74万9千人)

中央区

【現行政区】

中央区・西区・大正区・浪速区・住之江区・住吉区・西成区

- ・ 一人当たり自主財源額101.3千円 (H27決算)
- ・ R17人口62万4千人 (H27 71万人)

天王寺区

【現行政区】

天王寺区・生野区・阿倍野区・東住吉区・平野区

- ・ 一人当たり自主財源額88.8千円 (H27決算)
- ・ R17人口55万4千人 (H27 63万6千人)

2 区割りの考え方

(1) 基本的な考え方

以下の5つの具体的な視点に基づき、区割りを策定

- ◆ 各特別区における財政状況の均衡化が図られるよう最大限考慮する
- ◆ 各特別区間における将来（R17を想定）の人口格差を概ね2倍以内とする
- ◆ これまで地域において築きあげてきたコミュニティを考慮し、過去の合区・分区の歴史的な経緯を踏まえる
- ◆ 特別区内における住民の円滑な移動や住民間の交流を確保できるよう、鉄道網の接続や商業集積を考慮する
- ◆ 災害対策について、防災上の視点を出来る限り考慮する

(2) 基礎データ（人口・財政・歴史）

区名	人口(人) (H27.10.1現在)※1	将来推計人口(人) (R17年) ※2	面積(km ²) ※3	歳入合計 (H27年度調整後 単位:千円)		自主財源※4 (H27年度 単位:千円)		分区・合区の変遷					
				一人当たり歳入合計 (H27年度調整後 単位:千円)	一人当たり自主財源 (H27年度 単位:千円)	昭和49年7月 26区制		昭和18年4月 22区制		昭和7年4月 15区制			
此花区	66,656	55,721	19.25	17,382,020	260.8	5,538,780	83.1	此花区		此花区		此花区	
港区	82,035	69,833	7.86	13,992,587	170.6	6,897,473	84.1	港区		港区		港区	
西淀川区	95,490	89,262	14.22	18,070,734	189.2	7,957,365	83.3	西淀川区		西淀川区		西淀川区	
淀川区	176,201	157,450	12.64	42,508,209	241.2	17,083,012	97.0	淀川区					
東淀川区	175,530	157,015	13.27	22,666,316	129.1	13,606,369	77.5	東淀川区		東淀川区		東淀川区	
淀川区計	595,912	529,281	67.24	114,619,866	192.3	51,082,999	85.7						
北区	123,667	128,460	10.34	105,557,078	853.6	20,101,623	162.5	北区	大淀区	北区	大淀区	北区	
都島区	104,727	95,110	6.08	17,692,173	168.9	9,870,528	94.3	都島区		都島区			
福島区	72,484	72,085	4.67	19,019,289	262.4	8,670,366	119.6	福島区		福島区		此花区	
東成区	80,563	73,360	4.54	13,610,809	168.9	6,978,986	86.6	東成区		東成区		東成区	
旭区	91,608	74,412	6.32	11,430,005	124.8	7,483,603	81.7	旭区		旭区			
城東区	164,697	149,698	8.38	23,482,056	142.6	14,269,814	86.6	城東区		城東区		旭区	
鶴見区	111,557	109,178	8.17	16,586,801	148.7	9,322,921	83.6	鶴見区		城東区			
北区計	749,303	702,303	48.50	207,378,211	276.8	76,697,841	102.4						
中央区	93,069	96,378	8.87	107,560,672	1155.7	19,290,053	207.3	東区	南区	東区	南区	東区	南区
西区	92,430	101,870	5.21	38,087,583	412.1	12,079,357	130.7	西区		西区		西区	
大正区	65,141	51,405	9.43	10,486,629	161.0	4,986,120	76.5	大正区		大正区		大正区	
浪速区	69,766	62,658	4.39	18,636,597	267.1	6,176,070	88.5	浪速区		浪速区		浪速区	
住之江区	122,988	101,645	20.61	27,958,078	227.3	9,738,216	79.2	住之江区					
住吉区	154,239	133,756	9.40	19,458,603	126.2	12,898,062	83.6	住吉区		住吉区		住吉区	
西成区	111,883	75,954	7.37	12,403,727	110.9	6,726,218	60.1	西成区		西成区		西成区	
中央区計	709,516	623,666	65.28	234,591,889	330.6	71,894,096	101.3						
天王寺区	75,729	79,277	4.84	20,592,923	271.9	9,821,577	129.7	天王寺区		天王寺区		天王寺区	
生野区	130,167	105,311	8.37	16,058,728	123.4	9,247,395	71.0	生野区		生野区		東成区	
阿倍野区	107,626	95,903	5.98	22,971,017	213.4	12,040,229	111.9	阿倍野区		阿倍野区			
東住吉区	126,299	104,736	9.75	18,273,700	144.7	10,793,631	85.5	東住吉区		東住吉区		住吉区	
平野区	196,633	168,840	15.28	25,601,303	130.2	14,626,558	74.4	平野区		東住吉区			
天王寺区計	636,454	554,067	44.22	103,497,671	162.6	56,529,390	88.8						
合計	2,691,185	2,409,317	225.24	660,087,637	245.3	256,204,326	95.2						
	北区／淀川区	北区／淀川区		中央区／天王寺区	中央区／天王寺区	北区／淀川区	北区／淀川区						
	1.26	1.33		2.27	2.03	1.50	1.19						

※1:平成27年国勢調査結果による。

について、最大値及び最小値を太囲いにて表示。

※2:平成22年国勢調査を基に平成25年10月1日の人口を推計し、これを将来推計の基準人口とした。(平成26年8月推計)

※3:面積は平成27年10月1日現在(国土地理院発表)。単位未満は四捨五入のため、各区の面積の合計は総数と一致しない。

※4:自主財源は、個人市民税、軽自動車税、市たばこ税、譲与税・税交付金(一部)、交付金(一部)の累計で算出。

3 区の名称

基本的な考え方

特別区の名称案については、

- ①特別区は現行政区の区域を越えて形成されることから、より包括的なものとする
- ②できる限り住民に親しみやすく、わかりやすいものとなるよう、極力簡潔なものとする

■ 他都市分析の内容

東京特別区・政令指定都市行政区の名称の由来を分析

「方角・位置」に由来	「地名等」に由来	「地勢等」に由来	「古典・その他」に由来
38.5% (85区)	35.7% (79区)	17.6% (39区)	8.1% (18区)



基本的な考え方を踏まえ、「方角・位置」、「地勢等」をもとに以下のとおりとする

特別区の名称	現行政区
淀川区	此花区、港区、西淀川区、淀川区、東淀川区
北区	北区、都島区、福島区、東成区、旭区、城東区、鶴見区
中央区	中央区、西区、大正区、浪速区、住之江区、住吉区、西成区
天王寺区	天王寺区、生野区、阿倍野区、東住吉区、平野区

《参考》大阪市行政区名の由来分析（一部重複あり）			
方角・位置	地名等	地勢等	古典・その他
(西淀川) (東淀川)		港、(西淀川) 淀川、(東淀川)	此花
北 (東成)、(城東)	都島、福島 (東成)、鶴見	(城東)	旭
中央、西	住之江 住吉、西成	大正	浪速
(東住吉)	生野、阿倍野 (東住吉)、平野	天王寺	

4 町名の考え方

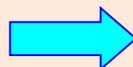
■ 町名の取扱い

地域の歴史などを考慮し、特別区の設置の日までの間に住民の意見を踏まえて大阪市長が定めることとする

■ 基本方針

現在の行政区の名称は、地域の歴史などを踏まえ、長年使用されてきたものであり、住民にとって愛着があることから、その取扱いには十分に配慮する

歴史、住民の愛着



一定のルールに基づいて、町名に反映

■ 取扱いルール（案）

新たに設置する特別区の名称と現在の町名の間、現在の行政区名を挿入（原則）

	市区名	行政区名	町名	街区符号	住居番号
変更前	大阪市	□□区	○○町×丁目	×番	×号
変更後	△△区	-	□□○○町×丁目	×番	×号

例外1：淀川区・北区・中央区・天王寺区は現在の行政区名と同一となることから、西区については方位と混同されやすいことから、現在の行政区名を挿入しない

【適用例】

変更前の町名（現行）	整理前の町名（案）	整理後の町名（案）
・北区 池田町 ・中央区 安土町 ・西区 九条	・北区 北池田町 ・中央区 中央安土町 ・中央区 西九条	・北区 池田町 ・中央区 安土町 ・中央区 九条

例外2：行政区名と町名が連続する場合は、現在の行政区名を挿入しない（漢字表記も含む）

【適用例】

変更前の町名（現行）	整理前の町名（案）	整理後の町名（案）
・港区 港晴 ・住之江区 住之江	・淀川区 港港晴 ・中央区 住之江住之江	・淀川区 港晴 ・中央区 住之江

参考資料

資料名	ページ
自治体の名称の定め方	区割-7
東京特別区・政令指定都市の行政区名の由来分析	区割-8

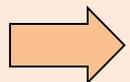
自治体の名称の定め方

法令上の取扱

地方自治法（昭和22年法律第67号）

3条3項 都道府県以外の地方公共団体の名称を変更しようとするときは、（略）条例でこれを定める。

3条4項 （略）名称を変更しようとするときは、あらかじめ都道府県知事に協議しなければならない。



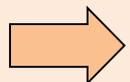
- ・名称の定め方について、法令上の制限（規定）はない
- ・特別区が変更することも可能

国の見解

表記等

昭和33年自治庁行政局長通知

名称等の書き表し方は、さしつかえのない限り、当用漢字字体表を用いる。（以下略）

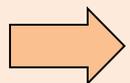


- ・基本的にひらがな、カタカナ、常用漢字を使用
- ・文字数上限などはない

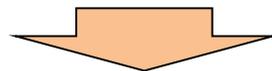
重複

昭和45年自治省事務次官通知

市の設置若しくは町を市とする処分を行う場合において、新たに市になる普通地方公共団体の名称については、既存の市の名称と同一となり、又は類似することとならないよう十分配慮すること。



- ・特別区の場合でも、同一・類似に関しては、先行自治体と協議を行うなどの配慮が必要



実例

○表記等

- ・最大文字数：6文字（かすみがうら市、つくばみらい市、いちき串木野市）
- ・最長読み数：9文字（南九州市 = ミナミキウシウ）

○重複

- ・府中市（広島県・東京都）、昭和29年～
- ・伊達市（北海道・福島県）、平成18年～

分析対象

- 東京都23特別区
- 政令指定都市（大阪市含む20市、行政区175区）

計 198区

分析内容

- 区名の由来を以下の7つに分類、構成比率を算出

- ・ **方位**：方角、位置に由来するもの (例) 北区、中央区 など
- ・ **地名等**：地名（旧市町村名や旧郡名を含む）に由来するもの (例) 都島区、新宿区（東京都） など
- ・ **地名等+方位**：地名等と方位を組合わせたもの (例) 東住吉区、名東区（名古屋市） など
- ・ **地勢等**：その土地の特徴的なもの（自然物・人工物）に由来するもの (例) 港区、千代田区（東京都） など
- ・ **地勢等+方位**：地勢等と方位を組合わせたもの (例) 西淀川区、江東区（東京都） など
- ・ **古典**：和歌、故事等に由来するもの (例) 此花区、宮城野区（仙台市） など
- ・ **その他**：イメージや抽象物に由来するもの (例) 旭区、文京区（東京都） など

〔由来の整理に関する考え方〕

- 区名の由来は複数あるものも多く、また、「地名等・地勢等・古典」については、その特定が困難
- 一方で、由来を分析するにあたっては、全ての区で一つの由来に限定する必要
- よって、以下の考え方に基づき、「直近の由来」で整理することにより、由来を特定
 - ・ 構成する旧市町村名や属する旧郡名などを使用した場合 ⇒ 「地名等」
 - ・ 古典に由来するものでも、町名、建築物等の名称で正式に使用されている場合 ⇒ 各々「地名等」、「地勢等」

東京特別区・政令指定都市の行政区名の由来分析②

≪凡例≫

「方位」⇒方角・位置、「地名等」、「名+方」⇒地名等+方位、「地勢等」、「勢+方」：地勢等+方位、「古典」：故事・古典、「その他」

※地名等には、実際の地名だけでなく、過去使用されていた旧市町村や旧郡名を含む

※地勢等 ⇒ その土地にある特徴的なもの（自然物・人工物）に由来

※故事・古典 ⇒ 地名などに反映されることなく、直接引用されたものに限る

行政区	千代田	中央	港	新宿	文京	台東	墨田	江東	品川	目黒	大田	世田谷
東京都	地勢等	方位	地勢等	地名等	その他	地勢等	地勢等	勢+方	地名等	地名等	地名等	地名等
	渋谷	中野	杉並	豊島	北	荒川	板橋	練馬	足立	葛飾	江戸川	
	地名等	地名等	地名等	地名等	方位	地勢等	地名等	地名等	地名等	地名等	地勢等	
札幌市	北	東	白石	厚別	手稲	西	中央	豊平	清田	南		
	方位	方位	地名等	地名等	地名等	方位	方位	地名等	地名等	方位		
仙台市	泉	宮城野	若林	青葉	太白							
	地名等	古典	地勢等	古典	地勢等							
新潟市	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲				
	方位	方位	方位	勢+方	地勢等	方位	方位	地名等				
さいたま市	岩槻	見沼	緑	北	大宮	浦和	中央	南	西	桜		
	地名等	地勢等	その他	方位	地名等	地名等	方位	方位	方位	地勢等		
千葉市	花見川	美浜	稲毛	中央	若葉	緑						
	地勢等	地勢等	地名等	方位	地勢等	その他						
横浜市	青葉	都筑	港北	鶴見	緑	神奈川	瀬谷	旭	保土ヶ谷	西	泉	戸塚
	その他	地名等	勢+方	地名等	その他	地名等	地名等	その他	地名等	方位	その他	地名等
	港南	南	中	磯子	栄	金沢						
	勢+方	方位	方位	地名等	その他	地名等						
川崎市	麻生	多摩	宮前	高津	中原	幸	川崎					
	地勢等	地勢等	地名等	地名等	地名等	地名等	地名等					
相模原市	緑	中央	南									
	その他	方位	方位									
静岡市	葵	清水	駿河									
	その他	地名等	地名等									
浜松市	天竜	北	浜北	東	中	西	南					
	地名等	方位	地名等	方位	方位	方位	方位					
名古屋市	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南
	地名等	方位	方位	方位	地名等	方位	その他	地名等	地名等	地勢等	地勢等	方位
	守山	緑	名東	天白								
	地名等	その他	名+方	地名等								

方位	地名等	名+方	地勢等	勢+方	古典	その他
2	13	0	6	1	0	1
8.7%	56.5%	0.0%	26.1%	4.3%	0.0%	4.3%
5	5	0	0	0	0	0
50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	1	0	2	0	2	0
0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%
5	1	0	1	1	0	0
62.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
4	3	0	2	0	0	1
40.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
1	1	0	3	0	0	1
16.7%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%
3	8	0	0	2	0	5
16.7%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	27.8%
0	5	0	2	0	0	0
0.0%	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
2	0	0	0	0	0	1
66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
0	2	0	0	0	0	1
0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
5	2	0	0	0	0	0
71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	6	1	2	0	0	2
31.3%	37.5%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%

主な由来

地名等

方位
地名等

地勢等
古典

方位

方位

地勢等

地名等

地名等

方位

地名等

方位

地名等

※主な由来：当該都市等を構成する特別区・行政区の由来のうち、最多となる区分

東京特別区・政令指定都市の行政区名の由来分析②

京都市	右京	左京	北	上京	中京	下京	西京	東山	山科	南	伏見	
	勢+方	勢+方	方位	勢+方	勢+方	勢+方	勢+方	地勢等	地名等	方位	地名等	
大阪市	北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川
	方位	地名等	地名等	古典	方位	方位	地勢等	地勢等	地勢等	古典	勢+方	地勢等
	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成
	勢+方	地名等	地名等	その他	勢+方	地名等	地名等	地名等	地名等	名+方	地名等	地名等
堺市	堺	北	西	中	東	南	美原					
	地名等	方位	方位	方位	方位	方位	地名等					
神戸市	北	西	垂水	須磨	長田	兵庫	中央	灘	東灘			
	方位	方位	古典	地名等	地勢等	地勢等	方位	地名等	名+方			
岡山市	北	中	東	南								
	方位	方位	方位	方位								
広島市	佐伯	安佐北	安佐南	西	中	東	南	安芸				
	地名等	名+方	名+方	方位	方位	方位	方位	地名等				
北九州市	若松	八幡西	八幡東	戸畑	小倉北	小倉南	門司					
	地名等	名+方	名+方	地名等	名+方	名+方	地名等					
福岡市	西	早良	城南	中央	南	博多	東					
	方位	地名等	勢+方	方位	方位	地名等	方位					
熊本市	北	西	中央	東	南							
	方位	方位	方位	方位	方位							

方位	地名等	名+方	地勢等	勢+方	古典	その他
2	2	0	1	6	0	0
18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	54.5%	0.0%	0.0%
3	10	1	4	3	2	1
12.5%	41.7%	4.2%	16.7%	12.5%	8.3%	4.2%
5	2	0	0	0	0	0
71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	2	1	2	0	1	0
33.3%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%
4	0	0	0	0	0	0
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	2	2	0	0	0	0
50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0	3	4	0	0	0	0
0.0%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	2	0	0	1	0	0
57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
5	0	0	0	0	0	0
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

主な由来
勢+方
地名等
方位
方位
方位
方位
名+方
方位
方位



※主な由来：当該都市等を構成する特別区・行政区の由来のうち、最多となる区分

①方位	②地名等	③名+方	④地勢等	⑤勢+方	⑥古典	⑦その他	合計
62区	70区	9区	25区	14区	5区	13区	198区

「方角・位置」に由来 (①+③+⑤)	「地名等」に由来 (②+③)	「地勢等」に由来 (④+⑤)	「古典・その他」に由来 (⑥+⑦)	総計(※)
85区	79区	39区	18区	221区



(※) 集計にあたり、重複を認めたため、総計は区数の合計(198区)を上回る